

備前市事務事業評価表

事務事業名	保健事業	コード	02-01-07-03
		担当課・係	保健課 保険医療係
		担当者	河井 健治
		電話	64-1819
事業実施期間	平成17年度から		
総合計画 事業（政策）体系	大項目(基本目標)	健康でやさしさあふれるまちづくり	
	中項目(基本施策)	やさしさあふれるまちづくり	
	小項目(施策)	保険給付（国保）	

事業について	
目的 (何のために)	被保険者の健康保持のため健康教育の啓発を行うとともに、疾病の早期発見による重症化を未然に防止する。
対象 (誰・何を対象に)	備前市国民健康保険加入者
内容	被保険者に健康に関するパンフレットを配布し、更に、医療費通知を送付することにより自己の受診状況の把握と、健康に対する意識の高揚を図る。また、希望者に対して疾病の早期発見のため人間ドック・脳ドックを実施する。

事業の結果			
実施項目	17年度 回数など (単位)	18年度 回数など (単位)	回数など (単位)
人間ドック	136 人	112 人	
医療費通知	46,231 通	47,565 通	
貸付事業	76 件	94 件	
総合保健施設整備	1,202.8 m ²		

事業費 (単位：千円)	事業費		財源		事業費		財源	
	直接事業費	335,762	間接補助金等	187,035	直接事業費	26,084	間接補助金等	38,320
	人件費	8,905	委託費負担	11,797	人件費	7,740	委託費負担	15,072
	合計	344,667	市債	116,300	合計	33,824	市債	19,568

必要人員	120 人	0.97 人
結果指標		
結果指標名	医療費通知	医療費通知
結果指標量	46,231	47,565
単位	通	通
対前年比	—	102.89%
活動にかかるコスト	4,146,000 円	4,145,000 円
単位当たりコスト	90 円	87 円
結果指標名	人間ドック	人間ドック
結果指標量	136	112
単位	人	人
対前年比	—	82.35%
活動にかかるコスト	6,789,000 円	4,841,000 円
単位当たりコスト	49,919 円	43,223 円

事業の成果			
どのような成果を得ようとしているか	被保険者の健康に対する意識の高揚による医療費の削減		
成果指標名	人間ドック受診率	式又は説明	受診者 / 40～70歳被保険者
	17年度	18年度	
成果指標量	2.07	1.72	
対前年比	—	83.09%	0.00%
到達目標値	5%	到達目標年度	毎年度

事業の目的、対象、内容を考えながら目的の妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事務事業の評価		(平成18年度事業)
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である (関係法令等： 国民健康保険法)
	対象の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である
	市民ニーズの妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請のある事業である <input type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である
	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 国・県又は関係法令で定められている事業である <input type="checkbox"/> 民間に類似サービスがある <input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与すべき事業である <input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の影響は大である
効率性の評価	コストの効率化	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは増加傾向にある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用している <input type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である
	手段の最適化	<input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている
	職場の効率化	<input type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 事業に関するOJT（職場研修）は行われている <input type="checkbox"/> 事業の進行管理を定期的に行っている <input checked="" type="checkbox"/> 事業実施について職員の意見・要望が反映されやすい
有効性の評価	目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している
	成果向上の可能性	<input type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある
市民参画度	<input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている	

平成19年度の状況	<input type="checkbox"/> 重点化している <input checked="" type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している <input type="checkbox"/> 見直し継続している <input type="checkbox"/> 事業を縮小している	<input type="checkbox"/> 休止している <input type="checkbox"/> 他の事業と統合している <input checked="" type="checkbox"/> 平成18年度で廃止・完了	人間ドック・脳ドックを広報誌により募集して実施している。また、医療費通知を年6回被保険者に対して送付している。その他、健康に関する普及啓発パンフレット等の作成を行った。
目標値	結果指標量 46,231	結果指標量 150	
	成果指標量 2.3%		

総合評価	医療費通知等による普及啓発事業では、内容が単一化し効果が見えてこない。市民が自分の健康状態に関心をもってもらい、疾病を未然に防ぐことや、早期に発見することで医療費の抑制に繋げることが必要である。そのために、総合保健施設を有効に機能させる必要がある。	評価区分 < A ~ E > C
------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------

平成20年度以降の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input checked="" type="checkbox"/> 平成19年度で廃止・完了 <input type="checkbox"/> 他の事業と統合を検討する
--------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

平成20年度以降の改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
有効性	総合保健施設の有効活用	平成19年度	積極的な事業展開により、市民の健康意識を高揚させる。
効率性	パンフレット等の改善	平成19年度	市民の意識改革に繋がるようなものに改善する。